

社会的変化の自損行為に対する影響に関する研究

研究協力のお願い

当科では「社会的変化の自損行為に対する影響に関する研究」という研究を日本医科大学中央倫理委員会の承認および研究機関の長（学長：弦間昭彦）の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して行います。研究目的や研究方法は以下のとおりです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもって実施します。

皆様方には研究の趣旨をご理解いただき、この研究へのご協力をお願いします。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問などは下記の問い合わせ先へご連絡ください。

1. 研究の対象

2010 年 1 月 1 日から 2027 年 12 月 31 日の間に自損行為のために当院高度救命救急センターにて入院治療を受け、その自損行為がコロンビア分類（Columbia Classification Algorithm of Suicide Assessment; C-CASA）に基づき自殺企図と判定された患者さん。

2. 研究の目的

本研究は、COVID-19 感染拡大やスマートフォン・SNS の普及等の社会的変化により日本における自損行為の特徴がどのように変化したかを明らかにすることを目的として実施します。具体的には COVID-19 感染拡大やスマートフォン・SNS の普及等の社会的変化が生じた前後で患者さんの特徴や自損行為の原因・動機等について比較を行うことで、社会的変化が与えた自損行為への影響を調査します。研究の成果によって、今後の効果的な自殺対策立案に役立てる知見が得られる可能性があり、社会的意義があります。

3. 研究の方法

この研究は日本医科大学付属病院で実施する研究で、研究責任者は日本医科大学付属病院精神神経科大学院教授館野周、研究事務局は日本医科大学付属病院精神神経科成重竜一郎です。

2010 年 1 月 1 日から 2027 年 12 月 31 日の間、日本医科大学付属病院高度救命救急センターに、自損行為のために入院治療を受け、その自損行為がコロンビア分類に基づき自殺企図と判定された患者さんを対象に、診療によって得られた情報を集計し、COVID-19 感染拡大やスマートフォン・SNS の普及等の社会的変化があった時期ごとに比較し、解析を行います。

研究実施期間は実施許可日から 2029 年 12 月 31 日までです。

この研究は、外部機関との利益相反はありません。

4. 研究に用いる試料・情報

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：年齢、性別、精神科受診歴、自傷歴、生活状況、就労状況、教育歴、高度救命救急センター入院期間、精神神経科介入期間、転帰自殺企図手段、自殺企図の原因・動機、

利用を開始する予定日：実施許可日

情報の取得の方法：研究目的でない診療の過程で取得

この研究に関する情報は、個人が容易に特定されないよう記号化した番号により管理されます。情報は施錠可能な精神神経科医局内に設置された、インターネットに接続されていないパスワード保護されたパーソナルコンピュータに保管されます。患者さんの個人情報が、個人が特定できる形で使用されることはありません。

また、患者さんから、研究を継続されることについて同意の撤回がなされた場合は、個人情報は速やかに廃棄し、この研究に用いることはありません。なお、研究結果の報告、発表に関して、個人を特定される形では公表しません。

5. 問い合わせ先窓口

この研究に関するご質問などがありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の患者さんの個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

また、情報が研究に用いられることについて、患者さんまたは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

日本医科大学付属病院 精神神経科 館野周

〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5

電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：6789

メールアドレス：amtateno@nms.ac.jp